

参 考 資 料

規 約	P. 1~5
協 議 会 組 織 図	P. 6
自 治 会 活 動 の 現 況 表	P. 7
各 種 統 計 で 見 る 壬 生 野 地 域 の 状 況	P. 8

壬生野地域まちづくり協議会規約

第1章 総 則

(名称及び所在地)

- 第1条 この会は、壬生野地域まちづくり協議会(以下『協議会』という)と称する。
2. この協議会の事務局は、伊賀市川東1659-5番地 壬生野福祉ふれあいセンター内に置くものとする。

(目 的)

- 第2条 協議会は、壬生野地域を広域的コミュニティ範域と捉え、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という、市民が主役の地域コミュニティの創造を目標に掲げ、様々な地域課題を解決していくために『壬生野地域まちづくり計画』を策定し、地域住民が一体となった『住みよいまちづくり』を実践することを目的とする。

(事 業)

- 第3条 協議会は、前条の目的を達成する為、『壬生野地域まちづくり計画』に基づき次の事項について協議し、まちづくり事業の推進を図る。
- (1) 壬生野地域の総合的施策に関する事項。
 - (2) 市・行政施策との協働による事業に関する事項。
 - (3) 人権啓発、環境保全、健康づくり、地域福祉、産業振興、青少年育成、文化活動、地域スポーツ及び地域活性化推進事業に関する事項。
 - (4) 壬生野地域内、諸団体との連携・事業調整に関する事項。
 - (5) 壬生野地域まちづくり協議会事務所の管理運営に関する事項。
 - (6) その他目的達成に必要な事項。

(組 織)

- 第4条 協議会は壬生野地域に在住、在勤する全ての市民をもって組織する。

(個人情報保護)

- 第5条 個人の権利及び利益が侵害されることのないよう、個人情報の収集、提供及び管理等については特に慎重に行い目的以外に利用してはならない。

第2章 機 関

(機 関)

- 第6条 この協議会に、次の機関を置く。
- (1) 総 会
 - (2) 運 営 委 員 会

- (3) 専門委員会
- (4) 役員会
- (5) 公聴会

(総 会)

第7条 総会は、協議会の最高議決機関であって、第12条第1項に定める役員及び第13条第1項に定める全委員をもって構成する。

- 2. 定期総会は、原則として年1回(4月)会長が招集し、地域の総意に基づいた事業計画・事業予算・協議会規約・地域まちづくり計画等について審議するものとする。
- 3. 臨時総会は運営委員の過半数の要求があったとき会長が臨時総会を招集しなければならない。
- 4. 総会の議長は構成委員の中から選出する。
- 5. 総会は構成委員の3分の2以上の出席(委任状含む)により成立する。
- 6. 総会の議事は出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(運営委員会)

第8条 運営委員会は第12条第1項に定める役員及び第13条第1項に定める運営委員をもって構成する。

- 2. 運営委員会は、協議会の企画運営・啓蒙啓発及び専門委員会の提案事項等について審議するものとする。
- 3. 運営委員会は会長が招集するものとし、必要に応じて第13条第1項に定めるまちづくり委員を加えることができるものとする。

(専門委員会)

第9条 専門委員会は第13条第1項に定めるまちづくり委員をもって構成する。

- 2. 専門委員会は総会の定めにより構成するものとし、地域まちづくり計画の策定及び、広報公聴、企画実践のための委員会とする。
 - (1) 分権・自治専門委員会
 - (2) 人権・同和専門委員会
 - (3) 健康・福祉専門委員会
 - (4) 生活・環境専門委員会
 - (5) 教育・文化専門委員会
 - (6) 産業・交流専門委員会
 - (7) 広報公聴委員会
 - (8) その他総会で定める専門委員会
- 3. 前項の専門委員会を円滑に進行させるため、各委員会に委員長・副委員長及び書記を置くこととし、選出方法は委員による互選とする。
- 4. 各専門委員会には、会長の指示によりまちづくり委員のほかに協議会運営委員、地域振興プロジェクトチーム(行政職員)を適宜参画させることができる。

(役員会)

第10条 役員会は正副会長、事務局長、事務局次長、会計、幹事及び会長が必要と認められた者で構成し、会長が適宜に会議を招集し主宰する。

(公聴会)

第11条 公聴会は、全ての市民を対象とし必要に応じて開催するものとする。但し議決権は持たないものとする。

2. 公聴会は、地域のニーズを協議会活動に反映させると同時に地域のコミュニティを活性化させることを目的とする。

第3章 役員及び委員

(役員)

第12条 協議会に次の役員を置く。

- | | | |
|---------------|-------|---|
| (1) 会 長 | 1 | 名 |
| (2) 副 会 長 | 2 | 名 |
| (3) 事 務 局 長 | 1 | 名 |
| (4) 事 務 局 次 長 | 1 | 名 |
| (5) 会 計 | 1 | 名 |
| (6) 幹 事 | 若 干 名 | |

2. 役員の選出は第13条第1項の運営委員の中から選考委員が推薦し、総会の承認を得るものとする。
3. 協議会の運営をより円滑化するため細則に定める相談役を置くことができる。

(委員)

第13条 協議会に次の委員を置く。

- (1) 運営委員
- (2) まちづくり委員
- (3) 選考委員
- (4) 会計監査委員

2. 運営委員及び会計監査委員は、壬生野地域の区長（若しくは代表者）及び、地域活動を実践する各種団体等から選考委員が推薦したものとする。
3. まちづくり委員は、一般公募及び選考委員の推薦によるものとする。
4. 選考委員は壬生野地域の区長（若しくは代表者）とする。
5. 第1項の委員数については細則にこれを定める。

(役員の職務)

第14条 役員の職務を次のとおり定める。

- (1) 会長は、協議会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 事務局長は、協議会の事務全般を統括し運営委員会の連絡調整を図る。
- (4) 事務局次長は、事務局長を補佐するとともに協議会会議の書記にあたる。

(5) 会計は、協議会の会計事務にあたる。

(6) 幹事は、協議会会務の運営にあたる。

(委員の職務)

第 15 条 委員の職務を次のとおり定める。

(1) 運営委員は、協議会を企画運営し地域住民への啓蒙啓発に努める。

(2) まちづくり委員は、総会で定める専門委員会において「地域まちづくり計画」の策定及び実践活動の企画・実践にあたる。

(3) 会計監査委員は、協議会会計の監査にあたる。

(任 期)

第 16 条 役員及び委員の任期は定例総会から定例総会までの 1 年間とし再選を妨げない。但し協議会の活性化のため同一役職は原則として 3 年を限度とする。

2. 年度途中において欠員が生じた場合は、会長は役員会・運営委員会の議を経て後任者を補職する。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。

第 4 章 会計及び会計監査

(会 計)

第 17 条 この協議会の経費は、補助金、諸収入及びその他の収入をもって充当する。

2. この協議会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(会 計 監 査)

第 18 条 この協議会の会計監査は、会計帳簿及び収入支出の状況を監査し、総会に報告するものとする。

附 則

1. この規約は、平成 16 年 1 月 23 日から施行する
2. この規約を改正しようとするときは、総会において出席者の過半数の賛同を得なければならない。
3. この規約に定めのない事項については、会長は運営委員会に諮り運営委員の承認を得なければならない。

改 正 平成 17 年 3 月 28 日

壬生野地域まちづくり協議会運営細則

(委員選出基準)

第 1 条 第 13 条第 1 項の委員選出基準及び委員数については次のとおりとする。

名称	選出基準	定数
(1) 運営委員 (兼選考委員)	山畑区長、川東区長、川西区長、西之澤区長 希望ヶ丘区長、川西青葉台区長、春日丘区長 山岸会代表	8 名
(2) 運営委員 (推薦による)	山畑区 2 名、川東区 2 名、川西区 2 名 西之澤区 2 名、希望ヶ丘区 4 名、 川西青葉台区 1 名、春日丘区 1 名 山岸会 1 名	15 名
(3) まちづくり委員 (推薦による)	山畑区 7 名、川東区 6 名、川西区 5 名 西之澤区 4 名、希望ヶ丘区 10 名 川西青葉台区 3 名、春日丘区 2 名 山岸会 2 名、各種団体 6 名	45 名
(4) まちづくり委員 (公募による)	18 歳以上で壬生野地域在住の者	10 名以内
(5) 会計監査委員 (推薦による)	18 歳以上で壬生野地域在住の者	2 名
計		70～80 名

※但し、推薦委員の選出にあたっては、年齢、性別などに配慮するものとする。

(幹 事)

第 2 条 第 12 条第 1 項の (6) 幹事は、壬生野地域の区長若しくは代表者とする。

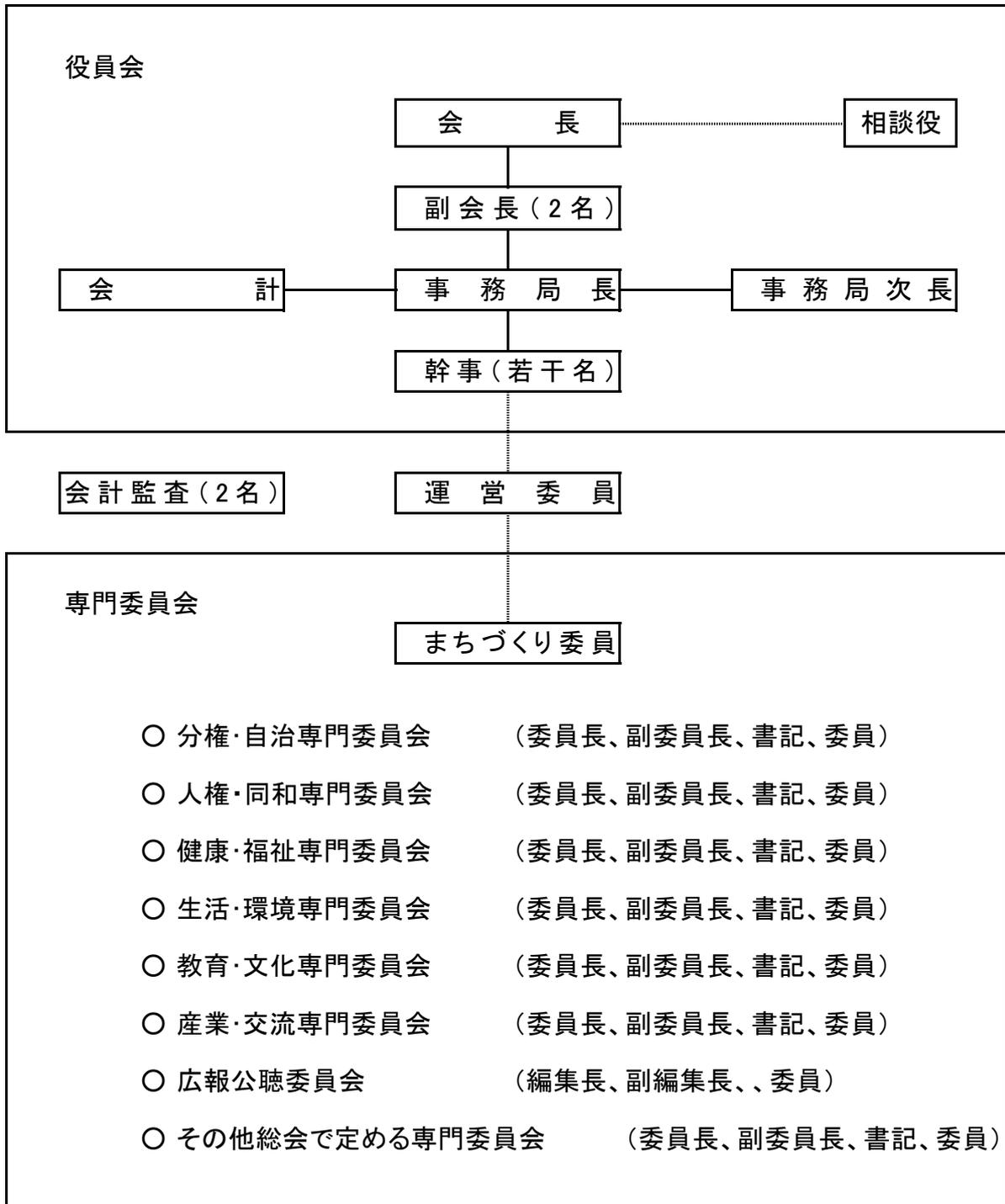
(相談役)

第 3 条 第 12 条第 3 項の相談役は、市議会議員、学識経験者等とする。

(細則の変更)

第 4 条 この細則の変更は、運営委員会の承認により決する。

壬生野地域まちづくり協議会組織図(案)



・壬生野地域における自治会活動(自治会単位の各種団体の活動を含む)の現況表

(参考資料)

まちづくり協議会の計画策定分野	自治会単位の活動内容	摘 要
分 権 ・ 自 治 の 確 立	・自治会総会の実施（住民の総意を反映）	
	・自治会規約予算の決定、分担金負担金の徴収	
	・組制度による相互扶助	
	・各種団体との調整 ・回覧板による情報伝達	
人 権 ・ 同 和 施 策 の 推 進	・人権地区別懇談会の実施（各地区）	
	・人権問題研修会（各種団体）	
	・保育園、小中学校地区別懇談会（人権研修）	
健 康 ・ 福 祉 の 推 進	・敬老会の開催（各地区）	
	・独居老人の訪問 ・いきいきサロンの実施	
	・公民館、集会施設等のバリアフリー事業	
生 活 ・ 環 境 の 再 生	・環境美化活動の実施（各地区、各種団体）	
	・公害防止委員会による公害防止活動	
	・交通安全啓発（PTA、各種団体）	
教 育 ・ 文 化 の 充 実	・キャンプ、遠足、写経、しめ縄づくり、高齢者との交流（子ども育成会）	
	・ゲートボール、カラオケ、手芸、生花、菊づくり（老人会）	
	・ソフトボール、剣道、サッカー、綱引き（地域スポーツクラブ）	
	・野はなしょうぶ、獅子神楽、神事踊り、奉納相撲（保存会）	
	・運動会（各地区） ・趣味の作品展、俳句会、大正琴等（サークル）	
産 業 ・ 交 流 の 促 進	・紅葉まつり（白藤保勝会） ・春日神社、勝手神社（例祭・祇園祭）	
	・夏まつり（各地区） ・杜の集い（春日神社）	
	・いなわら体験農園（川東）	
	・農業用道路、用排水路、水源の維持管理（土地改良区）	

各種統計で見る壬生野地区の状況

人口の推移	S60人口	H2人口	H7人口	H12人口	未就学児童数	15歳未満人口	65歳以上人口
伊賀支所管内	10,262	10,285	11,297	11,198	—	1,764	2,521
壬生野	2,475	2,576	3,570	3,820	—	694	664

少子化の推移	S60少子化率	H2少子化率	H7少子化率	H12少子化率
伊賀支所管内	—	16.35	17.47	15.78
壬生野	—	16.97	21.26	18.17

高齢化の推移	S60高齢化率	H2高齢化率	H7高齢化率	H12高齢化率
伊賀支所管内	—	18.07	19.76	22.51
壬生野	—	17.12	15.55	17.38

若者定着率	S60年 10～14歳人口	H12年 25～29歳人口	S60世帯数	H2世帯数	H7世帯数	H12世帯数	高齢者のみ 世帯数	一人暮らし 高齢者世帯数
伊賀支所管内	—	659	2,630	2,663	3,082	3,290	268	225
壬生野	—	252	606	605	895	1,112	72	50

産業別人口	一次産業就業者人口	二次産業就業者人口	三次産業就業者人口	その他	総就業者人口
伊賀支所管内	522	2,203	2,612	73	5,410
壬生野	—	—	—	—	—

土地利用の状況	農地 (平方km)	森林 (平方km)	原野 (平方km)	宅地 (平方km)	その他 (平方km)	総面積 (平方km)
伊賀支所管内	12,343	16,479	1,028	3,568	28,588	62,006
壬生野	—	—	—	—	—	—

農業の状況	農家数	農業粗生産額(百万円)
伊賀支所管内	1,082	881
壬生野	301	—

工場の状況	事業所数	従業者数	製造品出荷額等(百万円)
伊賀支所管内	61	2,424	77,741
壬生野	23	520	9,085

商業の状況	商店数	従業者数	年間販売額(百万円)
伊賀支所管内	88	360	7,558
壬生野	14	48	683

※資料は2000年国勢調査・住民基本台帳・世界農林業センサスによる